

ホっとする本



どきどき わくわくの新年度🌸一息つきながら楽しみましょ♪

『懐かしくて新しい「銭湯学」 -お風呂屋さんを愉しむとおき案内-』

町田 忍/監修 メイツユニバーサルコンテンツ



突然ですが、あなたは銭湯に行ったことがありますか？
年々数が減ってきているので、行ったことが無い方も
多いかもしれません。でも実は今、銭湯は若い世代から
密かに人気となってきているのです。

この本は銭湯の歴史から始まり、一日の仕事の紹介、
インテリアなど、様々な面から銭湯を知ることができる
一冊です。読んで興味を持った方は、ぜひ実際に
銭湯に足を運んでみてください。

『私たちは何を悩んできたか -高校生が語った子どものころの悩み-』

永野 恒雄/編著 同時代社



幼いころに感じていた不安や悩み。
誰にも打ち明けられず深刻だったはずですが、中高生
にもなればいつの間にか解消されているものです。
成長とともに不安から解放されることの安心感と、
「みんな子どもなりにいろいろ考えていたのだなあ」と
いう共感も覚える一冊です。



高井戸 YA 新聞 2023年春号(44号)



『ガラスの海を渡る舟』 寺地 はるな/著 PHP 研究所



他人と協調することができない、「みんな」と違う兄。
何でもそつなくこなせるが、自分にはない特別な才能
に憧れる妹。お互いに苦手意識を持つ二人が、祖父
の残したガラス工房を再開させることとなり…。

兄妹がガラス工芸を通じて向き合い、成長していく十年
間を描いています。



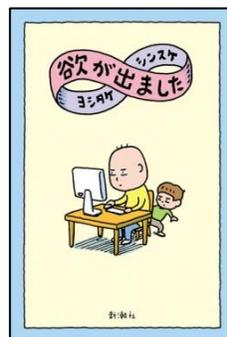
『君が夏を走らせる』 瀬尾 まいこ/著 新潮社



16歳の金髪高校生・大田は、ひよんなことから
夏休みの1カ月間、先輩の1歳児の娘・鈴香の
面倒をみることに。小さい鈴香に振り回されるうちに、
大田はやがて…。

「ヤンキー×幼児」の掛け合い漫才のようなやりとりが
面白く、くすっと笑えるハートウォーミングな1冊です。

『欲が出ました』 ヨシタケ シンスケ/著 新潮社



人気の絵本作家による、普段描きとめている様々な
スケッチに自らゆる〜く解説したものをまとめた
エッセイ集。ある表情の人のスケッチを、「お菓子をもう
一個取ってもいいんじゃないかとか、俺はもうちょっと
寝ていいんじゃないか、といったプチ欲が出たとき
の顔」としてさらりと語る一本目を筆頭に、そういう
のってあるある！と共感しきりでほのぼののしちゃう
内容が満載です。